

シボレックス50の目地部は、防水性を確保するために、シボレックス50のパネル相互間の目地およびシボレックス50と他部材との取合い部にはシーリングを充填します。

## 2.シーリングのポイント

### パネルの目地にはシーリング材を充填する

- ・雨がかりとなるようなパネル相互間の目地およびパネルと他部材の取合い部には、シーリング材を充填します。
- ・シーリング材は、アクリル系 (JIS A 5758 耐久性区分 7020) 以上のシーリング材を使用し、当社の推奨品 (P.80 関連副資料) をご使用ください。
- ・シーリング材の種類毎の一般的な特性を下表に示します。

種類	特性
アクリル系シーリング材	一成分型の水性シーリング材で取扱いが容易。経済性良好。低モジュラスタイプ。非汚染性。耐久性がやや劣る。比較的やせが大きい。
ポリウレタン系シーリング材	伸び率が大きい。耐久性が良い。収縮率が小さい。アクリル系に比べ、やや高価。
ポリサルファイド系シーリング材	伸び率が大きい。耐久性が良い。収縮率が小さい。汚染性がある。種類によっては高モジュラス。高価。
シリコン系シーリング材	耐久性が良い。仕上塗材が付着しにくい。汚染性がある。高価。外壁には使用しない。
変成シリコン系シーリング材	伸び率が大きい。耐久性が良い。収縮率が小さい。高価。

### シーリング材は低モジュラス品を選定する

- ・モジュラスの高いシーリング材を使用すると、目地部にひび割れ等の支障をきたす恐れがあります。シーリング材は、50%モジュラスにおいて 0.2N/mm<sup>2</sup> (20N/cm<sup>2</sup>) 以下を目安として選定してください。

### 外装仕上げ材との相性にも配慮する

- ・シーリング材は、外装仕上げ材への付着性や汚染性にも配慮して選定してください。
- ・シーリング材は、表面に仕上塗材で仕上げを行うことが一般的ですが、シーリング材表面への塗装の有無により、選定すべきシーリング材が異なりますのでご注意ください。

### 他部材との取合い部には個別に注意が必要

- ・出隅部、入隅部および他部材との取合い部などに設ける伸縮目地は、目地の挙動に追従できる2面接着構造とするために、バックアップ材などを詰めてからシーリングを充填してください。
- ・なお、パネル間の目地部は、ノンワーキングジョイントですので3面接着とすることも可能です。
- ・他部材の材質等の特性も考慮し、適切なプライマーおよびシーリング材を選定してください。

### シーリング材の標準仕様を遵守する

- ・シーリング材性能を確保する為にプライマー等は、シーリング材メーカーの標準仕様を遵守してください。

## シーリング材の選定目安

ここで示すシーリング材の選定目安は、「JASS 8防水工事」に記載されている選定表からALCに関するものを抜粋し、「JIS A 5758建築用シーリング材」および同附属書の表記を使用し作成したものです。詳細については、それぞれのJASSもしくは当該材料メーカーの仕様を遵守してください。

シーリング材目安表1

JIS A 5758 による呼び名	F-12.5E	F-20LM	F-25LM
シボレックス50のパネル相互間の目地	○	○	○
シボレックス50と他部材との目地	×	○	○

○：適している ×：適していない

シーリング材目安表2

	成分による分類 <sup>※1)</sup> JIS A 5758による 耐久性区分 シーリング表面への 塗料の有無	変成シリコン系			ポリウレタン系			アクリルウレタン系	アクリル系
		MS-2	MS-1		PU-1	PU-2		UA-2	AC-1
		9030	9030	8020	9030	9030	8020	9030	7020
シボレックス50の パネル相互間の目地	有	○	○	○	○	○	○	○	○
	無	○	○	○	×	×	×	×	×
シボレックス50と 他部材との目地	有	○	○	○	○	○	○	○	×
	無	○	○	○	×	×	×	×	×

※1) MS-1：1成分型変成シリコン系 MS-2：多成分型変成シリコン系  
PU-1：1成分型ポリウレタン系 PU-2：多成分型ポリウレタン系  
UA-2：多成分型アクリルウレタン系  
AC-1：アクリル系

○：適している ×：適していない

□このパンフレットに記載された商品は、品質向上を目的に予告なく設計仕様や取り扱いを変更することがありますので、ご了承ください。